

ボランティア・地域活動コーディネーター力養成講座・最終回

「これからの活動に向けて」

2月9日（月）13:30～16:00

参加 全受講の受講生7人

講師 内山二郎氏（ボランティアセンター運営委員長）

お茶を飲みながら、スライドを見て第1回から講座を振り返りました。

- ・頭でわかるだけでなく、実際にやる手法が身につく講座だった。
- ・傾聴の講座は以前違う講師で、受けたが、末松先生の講座は全然違った。心に響く感じだった。
- ・役割は大切だと思った。「私にやらせて」と言われてやってもらおうと生き生きして目が輝いていた。役割を奪ってはいけないんだ。
- ・自分の地域が「何もない」と思っていたのにこういう活動（まちの縁側、まち歩き）をすると、歩いて発見して、歴史を知ったりして、地域おこしにつながるのだと思った。
- ・丸い会議をしたいけど、どう切り出そう…でも、「とりあえず、机をなくして」と言っている。「自分たちでやっている」（主体）と感じてほしい。
- ・いろいろな年代、経験の人と話せて360度の視点で見られた。
などの感想がでました。



そのあとは、「みらい新聞」作り。

1年後の自分が、この講座で学んだことから、どんなことをやったのかという記事を書いて、みんなの前で読みました。

